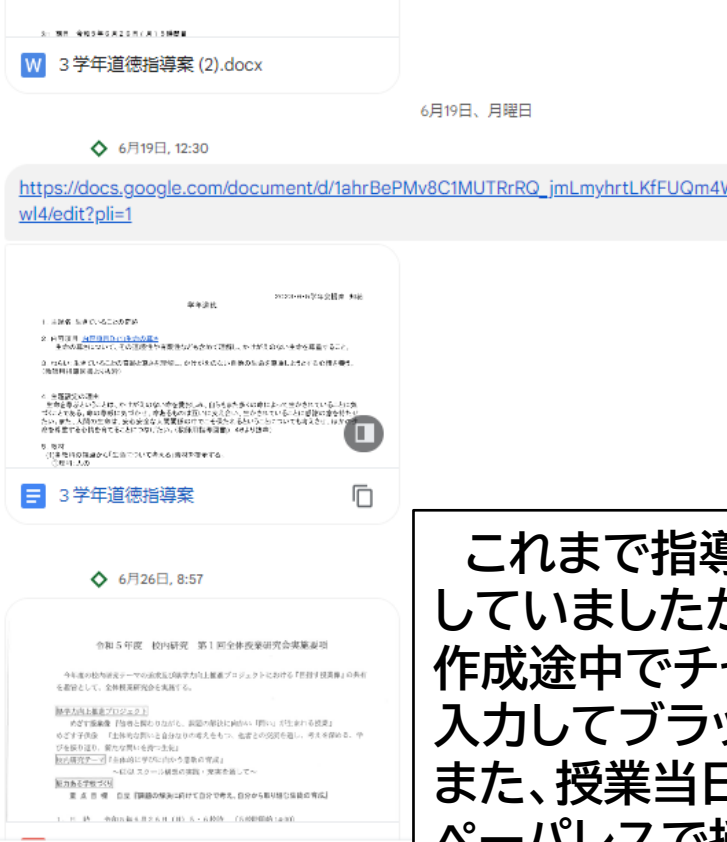


【取組内容④】校務におけるGoogleアプリ・クラウドの活用

チャットを活用して指導助言を
いただく主事と指導案検討も実施。



2023・6・5 学年会提案！

学年道徳

1. 主観名：生きていることの奇跡
2. 内容項目：内容項目D-(1)生命の尊厳
生命の尊厳について、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。
3. ねらい：生きていることの奇跡と尊厳を理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を養う。（教師用指導図書より抜粋）
4. 主観設定の理由
生命を尊ぶということは、かけがえのない命を愛おしみ、自らもまた多くの命によって生かされていることに気づくことである。命の尊厳に気づかせ、命あるものは互いに支え合い、生かされていることに感謝の念を持たせたい。また、人間の生命は、安心安全な人間関係の中でこそ保たれるということについても考えさせ、ほかの生命を尊重する心情を育てることにつなげたい。（教師用指導図書p. 46より抜粋）
5. 教材
(1)各教科の視点から「生命について考える」素材を提示する。
①理科：人の

方法
(1)各教科から、授業のねらいに迫る内容を、授業1時間のねらいに統合できるように授業を組み立てる。
(2) 学年生徒の実態を鑑みて、空調・プレゼンテーションが良好に機能する場所を設定する（ラウンジルーム）
→ネット環境が不安定なため、3 学年メディアへ変更 ←※こちらの環境も要確認

1. 期日 令和5年6月26日（月）5 時間目
2. 対象 3 学年
3. 授業者 3 学年職員 T1.司 T2.知花
4. 学年の実態
(1)良い点
入学当初から、明るく元気で活発である。「考える」ことが少し苦手だが、「動く」ことが得意。この数年のコロナ禍を乗り越えて、毎日の部活動練習に動き優秀な成績を残し、学年としての盛り上がりがあり、学校全体の牽引力となれる力も期待できる学年となった。
1 学年からの職員のため余裕力と、見取りと、ケアによるところが大きい。これまでの先生方の、どの指導がどのようにこの子たちに効果を齎したかについて記録しておくことが、今後1年の糧となりそう。（よかったことも、悪かったことも、今後の指導のサンプルとして共有したほうがよい）
- (2)改善点
じっとしていることが苦手な子が多い。
事象に対して突発的に興奮したり行動することや生徒が多く、その流れに全体が引っ張られることが多々ある。それが好ましい方向のときは素晴らしいエネルギーとなるが、そうでないときの感情に任せられたりとならぬ、教師側からの理由だけでは決して納得せず、反旗を翻す危険をはらむ。

ねらい→授業のどの場面で、何を考えさせたいか（中心発問は）
本時ではどのような所像種を育てたいのか。

聖書の日、平和学習までつなげると話が大きくなりすぎて無理があるかなと思いついた今日このごろ。
生命尊重に限定するべきか？

自作教材を作るにあたって、教科横断的な視点で授業づくりをしたのでしょうか。別業との関連はありますか。

実態に関して、私の主観です。
先生方のそれぞれのみとりをコメントしていただければ幸いです。

これまで指導案は、ローカル環境の文書作成ソフトで作成していましたが、今年度はドキュメントを活用して作成。作成途中でチャットにて、校内で共有を図り随時コメントを入力してブラッシュアップを図った。また、授業当日も端末にて指導案を共有しているため基本、ペーパーレスで授業研究会を行った。